

親知らずは抜くべき？



私たちのお口の中でなにかとトラブルになりやすい歯が「親知らず」です。痛みや腫れがある方、症状はないが抜いたほうがいいのか分からない方、、、親知らずでお悩みの方は多いのではないのでしょうか。今回は、「親知らず」について詳しくご紹介していきます！ぜひ、目を通してみてください！



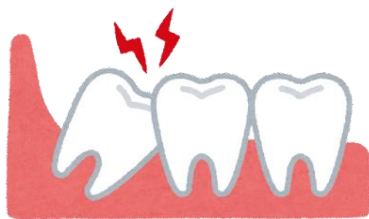
親知らずって一体何者？

親知らずとは、永久歯の中で一番最後に生えてくる歯で、正式名称を「**第三大臼歯(だいさんだいきゅうし)**」といいます。成長してしまっていて親が知らない頃になって生えてくることから、「**親知らず**」という名前がつけました。数については個人差がありますが、通常は上あごの左右に**2本**、下あごの左右に**2本**、**計4本**あります。(先天的に親知らずのない方もいます。)



親知らずを抜いた方がいい場合とは？

★ 親知らずが一部しか生えておらず、上下噛み合っていない場合



→歯と歯茎の境目に物が詰まりやすく、虫歯や歯周病の原因となるため、**抜歯を検討していきます。**

★ 親知らずがななめや横向きに埋まっている場合



→手前の歯を溶かし、歯並びに影響を与えることがあるため、**抜歯を検討していきます。**

★ 親知らずがまっすぐに生えて、上下噛み合っている場合



→歯としての役割を立派に果たしているため、**抜歯する必要はありません。**



抜歯する前に気を付けること

余裕をみて、なるべく抜歯後1週間は大事な用事の入っていない日程に。



歯を抜く理由やリスクについてしっかり説明を受ける。



連休前などの抜歯は、いざ痛い時歯科医院が閉まってしまうので避ける。



抜歯した後に気を付けること

熱が出ることもあるので、特に抜歯した当日は安静に過ごす。



血行が良くなることで、痛みや出血の原因に繋がるので、お湯に浸かったり、飲酒は控える。



傷口にばい菌を入れないためにも指や舌で触らない。



抜歯後の痛みの期間

多くの場合、2~3日で痛み止めが不要なくらい痛みが引きます。通常、抜歯後は歯を抜いた穴に血液が溜まって餅状に固まり（血餅）、そこに血管や細胞が新しくでき、傷口が治っていきます。

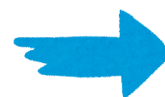
1日後



2~3週間



1~2カ月



抜歯後の空いた穴に血がゼリー状に固まる

傷の周囲を歯肉が多い、穴が塞がれる。

歯茎が作られて完治。

※ 稀に、抜歯した後、骨が露出したままになり、細菌感染が起き（ドライソケット）、抜歯した3~5日後から強い痛みがでてきます。この場合、うまく血餅ができなかったり、数日たってから血餅が剥がれてしまうことがあり、痛みが10日~2週間続きます。